

聞いてきました！ まちの声

表紙によせて VOL.20

みたに ただすみ

大藤まつり実行委員長 三谷 忠澄 さん

春になると多くの観光客が訪れる八女市黒木町の大藤まつり。その運営を支えるのが大藤まつり実行委員会です。今回は委員長の三谷忠澄さんに、まつりの運営や課題、そして訪れる皆さんへのメッセージを伺いました。

実行委員会はどういう形で大藤まつりを支えていますか

大藤まつり実行委員会は、黒木支所、商工会、商店街などが連携し、まつりの企画立案から実施までを担います。それぞれが役割を分担し、円滑な運営を目指します。特に、地元の商店街や関係者の協力が不可欠であり、多くの方々の支えがあってこそまつりが成り立っています。

これまでの大藤まつりとの関わりをお聞かせ下さい

私は幼い頃から大藤に親しんできました。学校が終わると友達と大藤の下に集まり、露店の周りで遊んでいました。それから時は進み、かつて駅だった場所が有志による手作り運営で砂利道の上での物産館といった活動を経て、現在のような形になるまでには多くの関係者と連携していく努力がありました。



編集後記

新緑がまぶしい季節、皆さまいかがお過ごしでしょうか。5月の八女は、茶畑が鮮やかな緑に染まり、風に乗って新茶の香りが広がります。日中は穏やかな陽気に包まれ、外へ出るのが気持ちのよい季節です。

田んぼに水が張られ、鏡のように空を映す風景も

どのようなご苦労がありましたか

近年の課題のひとつが、藤の開花時期の変化です。以前はゴールデンウィークに満開でしたが、最近は開花が早まり、まつりの時期と合わないことにより、遠方から来られるお客様ががっかりするのではないかと心配しています。さらに、駐車場の確保や交通整理も大きな課題です。何百台もの車をスムーズに誘導するため、警備員や関係者の協力が欠かせません。特に気温が上がる時期のため、スタッフへご負担をかけています。

皆さまへのメッセージ

朝の静かな時間帯には、藤の香りが一面に広がり、ゆっくりと楽しむことができます。夜のライトアップされた藤も幻想的なので、ぜひ時間をかけて滞在してほしいです。また、昨年から御朱印や商工会女性部が考案したマスコットキャラクター「まめふじくん」が登場し、新たな魅力が加わりました。ぜひ、まめふじくんもいろんなところで使って活躍して欲しいですし、多くの方に大藤まつりを楽しんでいただき、地域の活性化にもつながってほしいと思います。

この時期ならではの、川沿いを歩けば、涼やかな風が頬をなで道端には色とりどりの花が咲いています。まちの景色が移り変わるなか、市政も新年度の施策が動き始めました。皆さまの声を大切にしながら、八女市の未来を見据え、議会も一歩ずつ前へ進んでまいります。

花下 主茂

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	広報委員会	議長	発行責任者
花下	坂本	久間	原田	小山	高山	服部	水町	古賀			
主茂	治郎	寿紀	英雄	和也	正信	良一	典子	邦彦			

議会を傍聴しませんか？

次回定例会：5月27日（火）予定

八女市役所本庁舎 4階議場 午前10時から
八女市議会事務局 TEL: 23-4922
※日程は変更となることがあります。